

ホップ・ステップ・ジャンプ!



進路に関する取組が本格始動!! ~面接について~

12月7日(月)6限目に、面接についての集会を行いました。私立入試・公立入試に向けてはもちろんのこと、この先の将来で必ずや「面接」を経験する機会がくるでしょう。そのこともあり、学年全体で学習する場を設けました。

面接では「人間力」が求められます。今後、たくさんの人と出会い、コミュニケーションをしていく上では、とても大切な学習です。また、礼儀正しい立ち居振る舞いや言葉遣いは普段の生活の中でも意識できます。今一度、自身の言動を振り返ってみてください。



~「新 面接の答え方」に関して~

3年生全員に「新 面接の答え方」という冊子を配布しました。高校入試のためだけに活用するのではなく、この先の大学受験や就職活動、そして社会に出てからも活用できる知識が満載です。また、第4章には「作文」に関する情報も掲載されていますので、国語のテスト対策にも使えます。

★推進委員会企画 各クラスで「日めくりカレンダー」を作成★

先週、各クラスで「私立入試まで〇日、公立入試まで〇日、卒業まで〇日」といった日めくりカレンダーを作成しました。いよいよカウントダウンです。

12月は「師走」というように、あっという間に日々が過ぎていきます。1日1日を大切に。14日から始まるカレンダーを各クラスで楽しみにしましょう!!

【デイリーライフのコメントより】

今日、日めくりカレンダーを作りました。入試や卒業式まであと少しだと実感したし、みんなと協力し合いながら、学校生活を過ごしたいと思いました。

3年4組石田さんの活躍を紹介!

12月5日(土)、石川県地場産業振興センターで、第67回石川県PTA大会が行なわれ、石田はるなさんが少年の主張石川県大会の入賞者としてオープニングを飾りました。大勢の観客を前に堂々とした発表で、大変素晴らしかったです。なお、裏面に石田さんの主張文を全文掲載しますので、ぜひともご一読ください!



私たちの使命

野々市市立野々市中学校 三年 石田 はるな

私たちは、なぜ学校へ行くのだろうか。学校といえば、勉強するところという印象が強い。確かにそうだが、私は、勉強するためだけに行っているのではないと考える。そう考える理由は2つある。

1つ目は、学校行事や集団行動を通して、様々なことを感じたり、学んだりした経験があるからだ。例えば、部活動での経験だ。私は女子バスケットボール部に所属していた。練習中、他の部員と意見が合わず対立してしまったときがあった。心がバラバラになると当然プレーもうまくいかない。その後、自分の意見をただ押し付けるのではなく、相手の意見に耳を傾けることも大切なのだと気がついた。また、仲間とともに、「勝ちたい」「もっと上手になりたい」などと、ひとつの目標に向かって努力することの楽しさも身をもって知った。しかし、これらのことを感じたり、学んだりできたのは、全て「仲間」がいたからこそである。そもそも、「仲間」がいなかったらできなかった経験なのだ。このことから私は、自分一人ではなく、仲間と共に学び合い、成長するために学校へ行くのだと思う。

2つ目の理由は、学校へ行くことが、私にとって1番の楽しみだからだ。今年の4月、新型コロナウイルスの影響によって、突然、学校へ行くことができなくなった。石川県でも緊急事態宣言が発動され、多くが自宅待機を余儀なくされた。このことにより、中学生の私たちも「学校」という存在について深く考えさせられたのではないだろうか。2カ月間の休校により、授業もストップ。学校からの課題に一人で取り組む日々の中で、楽しみにしていた行事がなくなったり、友達に会えなくなったりと、当たり前だった日常が当たり前ではなかったことに気づかされた。それと同時に、自分にとって「学校」が「生きがい」のようなものであることにも気づいた。学校へ行けば、友達がいて、一緒に話したり、一緒に笑ったりできる。それが、私にとって1番幸せな瞬間だ。私の周りには、勉強するため以外の理由で学校へ行っている人も結構いる。だから、学校へ行く理由が必ずしも「勉強するため」に限定されなくてもいいと思う。

しかし、世の中には、貧困や紛争などが原因で、学校へ行って勉強したくてもできない子供が大勢いる。ユニセフによると、2017年時点で1億2300万人にもものぼるそうだ。彼らにとって、何の不自由もなく、十分な教育を受けられている私たちは、とても羨ましい存在だろう。このことを知り、勉強が「面倒臭いな」と思っていた自分が恥ずかしくなった。ここでも、学校へ行って勉強できることは当たり前ではないことを知った。むしろ、いやいや勉強するのではなく、感謝して勉強に励もうとさえ思った。また、私自身のこの小さな変化が、学校へ行けない子供たちの願いを叶える第一歩につながるのではないかと感じた。

学校へ行く理由——。総じてそれは、これから先の人生を豊かにするためだと私は考える。学校に行けば、仲間とともに学び合い、成長することができる。だが、これが当たり前ではないことを忘れてはならない。学校で感じたことや、学んだこと全てを、これから先の人生に最大限活かすことが私たちの使命ではないだろうか。残り僅かとなった中学校生活。部活動にも行事にも一区切りついた今、次なる目標は、受験、志望校合格である。コロナ禍の中、様々な制約や第3波への不安もあるが、まずは学校に行くことができることに感謝し、目の前の自分にできることを限界まで挑戦し続けようと思う。

未来に向かって。